

5つの基礎 - 福音の理由を知る人々 (マルコの屋上の間)



使徒2:1~13 五旬節の日になって、みなが一處所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した。 (1~4)

福音の理由を知る人々

1. 三つの祭りの意味を知っていました

- 1) 逾越祭
- 2) 五旬節
- 3) 収穫祭

2. 三つの事件の意味を知っていました

- 1) カルバリの丘
- 2) オリーブ山
- 3) マルコの屋上の間

3. 三つの契約を持ちました

- 1) キリスト (使 1:1)
- 2) 神の国 (使 1:3)
- 3) 聖霊の満たし (使 1:8)

4. 祈りに専念しました (使 1:14)

- 1) 苦難の時を知る人々でした
- 2) 未来を知る人々でした
- 3) その後、福音運動が始まりました

聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

01

聖日 (主日)

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。 (ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

5つの基礎 — ただを知る人々 (チームの働き)



使徒2:9~11 私たちは、パルテヤ人、メジャ人、エラム人、またメソポタミヤ、ユダヤ、カバドキヤ、ポントとアジア、フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人たちで、ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。

ただを知る人々は

1. 神様が召された Remnant です

- 1) Remnant の根は、キリストです
- 2) 切り株は福音を持った者です
- 3) 新しい芽は 幼い次世代です
- 4) 新しい芽が育って森をなすことが世界福音化です
- 5) Remnant は残りの者、残る者、残れる者、残す者を意味します

2. 散らされた人々でした (使 2:9~11)

- 1) 世界から集まった人々でした
- 2) 最高の答えの現場に集まった人々でした
- 3) 福音を味わう産業人でした

3. 散らされるべき人々でした

- 1) 旅人でした
- 2) 宣教のための使命者でした
- 3) 世界福音化の主役でした

聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

08
聖日 (主日)

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって

礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

5つの基礎 — 唯一性を知る人々 (ミッションホーム)



使徒1:14 この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

唯一性を知る人々は

1. マルコの屋上の間に集まった120人の弟子たちでした（使1:14）
2. 15か国から来た産業人でした（使2:9～11）
3. 初代教会の7人の執事が選ばれました（使6:1～7）
4. アンテオケ教会を立てた重職者たちです（使11:19～30）
5. 最初の宣教師として出たバルナバとパウロです（使13:1～4）
6. ピリピのルデヤです（使16:15）
7. テサロニケのヤソンです（使17:6）
8. コリントのプリスキラとアクラです（使18:1～4）
9. ローマと世界を福音化した人々です（使19:21、23:11、27:24）
10. 福音の奥義を持った人々でした（ロマ16:25～27）

聖日（主の日）のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

15
聖日（主日）

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。（ヨハネ4:24）

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

5つの基礎 - 再創造を知る人々 (専門教会)



使徒18:1〜4 その後、パウロはアテネを去って、コリントへ行った。ここで、アクラというポイント生まれのユダヤ人およびその妻プリスキラに出会った。クラウドオ帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命令したため、近ごろイタリアから来ていたのである。パウロはふたりのところに行き、自分も同業者であったので、その家に住んでいっしょに仕事をした。彼らの職業は天幕作りであった。パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人とギリシヤ人を承服せよとした。

再創造を知る人々は

1. マルコの屋上の間に参加した人々でした

- 1) 聖霊に満たされる働きを体験しました (使 2:1〜4)
- 2) ローマから来た産業者である重職者たちでした (使 2:10)
- 3) 3000弟子でした (使 2:41)

2. パウロを助けた人々でした

- 1) プリスキラとアクラ夫婦です。(使 18:1〜4)
- 2) 彼らはパウロの同業者でした (ロマ 16:3〜4)

3. ローマ福音化の主役でした

- 1) 女弟子フィベです (ロマ 16:1〜2)
- 2) パウロの同業者プリスキラとアクラ夫婦です (ロマ 16:3〜4)
- 3) 全教会の家主ガイオです (ロマ 16:23)

聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

22
聖日 (主日)

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

5つの基礎 - 伝道理由を知る ひとびと ちきょうかい 人々 (地教会)



I コリ 16:19 アジアの諸教会がよろしくと言っています。アクラとプリスカ、また彼らの家の教会が主にあって心から、あなたがたによろしくと言っています。

でんどうりゆう しひとびと
伝道理由を知る人々は

1. 3つの時代を知っていました

- 1) 私 中心の時代です (創 3:4~5)
- 2) ネフィリム時代です (創 6:4~5)
- 3) バベルの塔の時代です (創 11:1~8)

2. 霊的問題から来るわざわざい時代を知っていました

- 1) 霊媒師に従います (使 13:1~12)
- 2) 占いに頼ります (使 16:16~18)
- 3) 偶像を崇拜します (使 19:8~20)

3. 地教会を通して、だれもいやすことのできない個人を生かしました

- 1) ルデヤに答えを与えて生かしました (使 16:15)
- 2) ヤソンに答えを与えて生かしました (使 17:6)
- 3) プリスカとアクラに答えを与えて生かしました (I コリ 16:19)

聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。 (ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



聖日 (主日)

タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題